

津山文化センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策ガイドライン (改訂版)

令和2年 7月1日策定

令和2年10月1日改訂

津山文化センター

本ガイドラインは、津山文化センター（以下「当センター」という）における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の実施にあたり、安全を確保するため、利用と管理についてのガイドラインとして作成しました。

なお、本ガイドラインは、公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（改訂版）」（2020年9月18日付）を参考に当センターの実情に合わせて運用します。

今後、全国公立文化施設協会のガイドラインの改定、国、岡山県及び津山市の方針変更、地域の感染動向等、必要に応じて適宜改定を行います。

利用ガイドライン

施設の利用にあたって、本ガイドラインに基づく公演の実施が困難であると判断した場合は、利用許可ができないこともあります。また、ガイドラインに従った必要な措置が講じられていない場合には、公演中であっても中止を要請させていただく場合もありますのでご了承ください。

利用申請時には「津山文化センター新型コロナウイルス感染拡大予防に関する同意書」をご提出いただきます。

なお、令和2年9月19日以降のイベント開催制限の段階的緩和の目安に基づき、当センター大ホールの利用制限にあたっては、次のことを留意の上でご利用ください。

地域の感染の収束状況、公演の内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による大声での歓声、声援、歌唱等がないことを前提としうる公演については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、収容定員1,003席（固定席1,001席、車イス席2席）までの配席とすることが可能です。（上限100%）

上記以外の公演については、マスク着用と発声の抑制の周知及び事業者による個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、原則として収容率を50%以内としてください。

座席は、異なるグループ間では1席空けますが、親子等の同一グループ（5名以内）では座席間隔を空けずに使用してもかまいません。（収容率は50%を超える場合もあり得る。）

ただし、事前に実施方法等について確認、協議させていただきます。

① 来場者への対応

- マスクの着用、咳エチケット、手洗い・手指消毒を徹底してください。
- ソーシャルディスタンス（最低1m）の確保を徹底してください。
- 下記の場合、来場を控えてもらうことを、チラシ、ポスター、案内文書等で事前に十分周知するようにしてください。その際に来場者ができるだけ不利益を被らず、有症状者の入場を確実に防止できるよう、状況に応じてチケットの振替や払戻等の対応策を講じてください。
 - ア 37.5℃以上の発熱がある場合
 - イ 咳・咽頭痛など（呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）の症状がある場合
 - ウ PCR検査で、陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合など
- 来場者の氏名及び緊急連絡先の把握、名簿作成に努めてください。把握した個人情報、主催者の責任で管理し、公演終了後1ヶ月程度保管のうえ責任を持って破棄してください。なお、来場者に対しては、感染が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。
- チケット購入時に来場予定者等に対し、接触確認アプリ（COCOA）や「もしサポ岡山」（もしもの時のサポートシステム）の活用を促してください。

・接触確認アプリ（COCOA）

App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。

利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

・もしサポ岡山（もしもの時のサポートシステム）

県内の施設・イベント会場の利用の際、QRコードを活用して利用者が連絡先を岡山県に登録していただくことで安心して施設などをご利用していただくためのシステムです。施設などを利用された方の感染が後日判明した場合において、登録いただいた方に濃厚接触者の疑いがある場合やクラスターの発生（おそれを含む）が確認された場合など必要がある場合にのみ、岡山県から、LINE公式アカウント「岡山県—新型コロナパーソナルサポート」を介して注意喚起を行います。

（端末にLINEがインストールされ、アカウントを取得している必要があります。）

- 入待ちや出待ちは控えるよう注意喚起してください。
- 高齢者や基礎疾患をお持ちの方、妊娠中の方、未就学児童をお連れの方は関係機関の情報を参考にいただき、慎重な判断をお願いしてください。

② 会場入口

- 来場者に対し、マスクの着用を励行してください。必要に応じて来場者用のマスクを準備してください。
- 来場者に対し、手洗い・手指消毒を励行してください。会場入口には、手指消毒用の消毒液を設置したり、必要に応じて入場口を制限することも検討してください。
- すべての来場者に対して非接触型体温計等による検温を実施してください。発熱を検知した場合は、別室などで再度体温計による測定を行い、最終判断を行ってください。
- 会場入口の待機列は、最低1mの間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫してください。
- 順路（入口、出口）を設定し、案内掲示をするなど密集を回避するようにしてください。

③ チケット窓口

- チケットを対面で販売する場合は、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購入者との間を遮蔽するよう努めてください。
- チケット窓口の行列では、最低1m（できるだけ2mを目安）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないような工夫をしてください。
- 現金の取り扱いをできるだけ減らすため、オンラインチケットの販売やキャッシュレス決済等もご検討してください。
- 現金を取り扱う場合には、手渡しせずにキャッシュトレー等を利用し、金銭の授受をしてください。

④ 入場時

- 入場時のチケットのもぎりの際は、マスクやフェイスシールド等を着用してください。また、感染拡大防止や3密を避けるため、来場者自身で半券を切り取って箱に入れ、公演主催者がそれを目視で確認するといった方式等、もぎりの簡略化の導入も検討してください。
- 余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場・開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。
- パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布を避け、テーブル等に置き、お持ちいただくなど工夫してください。
- 配慮が求められる来場者、障害者や高齢者等については事前に対応策を検討してください。

⑤ ホワイエ

- 飲み物以外の食事は禁止とさせていただきます。
- 対面での会話を回避するよう表示や館内放送等により促すようにしてください。
- 公演前後及び休憩中に、人が滞留しないよう、段階的な会場入り等の工夫を行ってください。また、休憩時間は長めにとるようにしてください。
- 人と人との距離を最低1m確保するよう努めてください。
- テーブル・椅子等の消毒を定期的に行ってください。

⑥ ホール内

- ホール内ではマスク着用を必須とし、来場者同士の接触や会話を控えていただくよう放送（陰アナウンス）等で周知してください。マスク未着用来場者に対しては配布や販売等、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
- 客席は、原則として指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調達できるようにしてください。
- 客席の最前列は舞台前から十分な距離を取り、最低でも水平距離で2m以上設けてください。
- 隣同士の配席とする際には、座席のひじ掛けの使用について、原則、左右いずれかに統一するように要請してください。
- 客席内でオペレートする場合は、客席との間隔を十分にとった配置としてください。
- 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- 客席扉の開閉は、来場者が触れないよう公演主催者（スタッフ）で行ってください。
- ホール内は、空調設備の適切な運用により効果的な換気と空調に努めています。また、機械換気に加え必要に応じて窓の開放等による換気も行ってください。
来場者にはホール内の温度が適温にならない場合があるため、体温調整のできる服装でお越しいただくよう事前に周知してください。
- 公演中の携帯電話などの抑制案内は、接触確認アプリの作動を妨げないように「マナーモード」設定を推奨します。
- 当面の間、親子室のご利用は中止とさせていただきます。

⑦ トイレ

- 余裕を持った休憩時間を設定し、トイレの混雑緩和に努めてください。
- トイレの混雑が予想される場合、来場者に対し最低1mの間隔を空けた整列を促し、誘導してください。
- トイレの使用後は、蓋を閉じてから流すよう周知してください。

⑧ 楽屋・控室

- 飲食は対面を回避し、人と人との距離を確保した上でお取りください。
- 常時換気に努め、密にならないようにしてください。
- テーブル・椅子等の物品の消毒を定期的に行ってください。
- 紙皿やコップは使い捨てのものを使用し、ゴミは公演主催者でお持ち帰りください。
- 楽屋への訪問は禁止とします。立入禁止エリアを設定してください。
- 出演者へのプレゼントや花束、差し入れ、面会等は控えるように呼びかけてください。

⑨ 物販

- 物販に関わる方は、マスクやフェイスシールドの着用、手指消毒を徹底してください。
- 対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽し、最低1mの間隔を空けて整列してください。
- 多くの方が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- 金銭の授受は手渡しせず、キャッシュトレイなどを利用してください。

⑩ 感染が疑われるものが発生した場合の対応策

- 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行うとともに当センター職員に報告してください。
- 対応するスタッフは、マスクや手袋、防護服の着用を徹底してください。
- 速やかに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。
- 感染者等の情報は配慮を要する個人情報であるため、取り扱いには十分注意してください。

⑪ 退場時

- 余裕を持った退場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での退場や出口を数カ所設ける等の工夫を行ってください。

⑫ 公演関係者への感染防止策

- 公演の運営に必要なスタッフは、必要最小限の人数としてください。
- 公演主催者は、公演関係者の氏名・緊急連絡先を把握してください。
個人情報保護の観点から名簿の保管には十分な対策を講じるとともに保管期間（公演終了後概ね1カ月程度）後は適切に破棄してください。
- 公演関係者にも接触確認アプリ（COCOA）や「もしサポ岡山」（もしもの時のサポートシステム）の利用を促してください。
- 会場入場時には検温等の対策を講じ、下記に該当する場合は、自宅待機とするように

してください。

ア 37.5℃以上の発熱がある場合

イ 咳・咽頭痛など（呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）の症状がある場合

ウ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合

エ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 など

- 公演主催者及び公演関係者は、その表現形態に依りて、出演者間で最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めるようにしてください。
- 公演時の出演者を除き、施設内ではマスク着用を原則とし、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- ピアノ使用の場合は、調律師が鍵盤を拭き上げ、演奏者に引き渡すようにしてください。（アルコール消毒厳禁）
- 管楽器の演奏等で飛沫の飛散が考えられる場合には、床に給水シートを敷いたり、アクリル板を設置するなど飛沫対策を講じてください。
- 仕込み・リハーサル・撤去等は、十分な時間を設定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- その他、稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにしてください。
- 楽屋、控室でも不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行い、必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。また、密にならないよう、定員を調整し、換気をしてください。
- 公演終了後は、舞台裏、楽屋や控室からは速やかに退去してください。
- 公演関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。

管理ガイドライン

津山文化センター施設管理従事者が、会館運営にあたって新型コロナウイルス感染拡大を防止するためのガイドラインです。

施設管理従事者の感染防止対策

- 出勤前に体温測定を行い、平常時より体温が高い場合、倦怠感や息苦しいなど体調不良がある場合は、就業せず自宅待機としています。また、出勤時にも検温を励行し、体調管理の強化に努めています。
- マスク着用での案内対応のほか、手洗い、うがい、手指消毒を励行しております。必要に応じては、フェイスシールドや手袋を着用します。
- 緊急連絡先や勤務状況を把握し、感染が疑われる場合には、保健所等の公的機関の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。
- ユニフォームや衣服のこまめな洗濯を行っています。
- 事務所内窓口カウンターに透明ビニールシートを設置しています。
- 金銭の授受は手渡しせず、キャッシュトレーを使用しています。

消毒

- 施設内のドアノブや手すり等、不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行っています。
また、抗菌抗ウイルス剤を塗布することで、不特定多数の人が触れる場所の接触のリスクを低減に努めています。
- 施設出入り口や共有スペース各所には手指消毒液を設置しています。
- 舞台、音響、照明等の機材や備品等は、消毒して拭き上げた状態で貸し出しています。
- 公演前後は、施設内の消毒・清掃等を行うために必要となる時間を確保しています。

換気

- 2018～2020 年にかけて実施された改修工事で新たに設置された十分な換気性能のある空調設備の適切な運用により、効果的な換気と空調に努めています。また、機械換気に加え必要に応じて窓の開放等による換気も行っています。

トイレ

- 不特定多数が接触する場所（スイッチ、便座、洗浄レバー等）は、抗菌抗ウイルス剤を塗布し、定期的に清掃拭消毒を行っています。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示しています。
- 男性用小便器は、1つ空けて利用いただくよう表示しています。

- トイレには、手洗い用の液体石鹸を設置しています。
- ソーシャルディスタンス確保の表示をしています。

清掃・ゴミの廃棄

- 清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクやゴム手袋の着用を徹底しています。
- 作業を終えた後は、手洗いを行っています。

周知・広報

- 各取り組みについて、館内掲示・ホームページ等を通じて周知に努めています。
- 各種注意喚起の表示を行っています。
- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底要請を行っています。
- ソーシャルディスタンス確保への協力要請を行っています。
- 大声や対面での会話を控えることを協力要請しています。
- 館内では、原則水分補給のみとし、その他飲食は控えるよう要請しています。

保健所との関係

- 施設における感染予防対策及び感染の疑いのある者が発生した場合には、速やかに連携が図れるよう、保健所との連絡体制を整えています。

その他

- 体調を崩されたお客様を案内する別室を確保しています。
- 公演中は、適切に感染防止策が行われているか確認を行っています。
- 施設管理者が主催・共催公演を開催する場合は本ガイドラインに従っています。